

《履修上の留意事項》デジタル資料配信やグループ討議等で使用するため、面接授業時にはPCを必携する。

《担当者名》長谷川 聡 (非常勤講師) haseg@hoku-iryo-u.ac.jp

### 【概要】

本科目は聴覚言語障害学を学ぶ基本として、コミュニケーション障害の実際と課題を理解するために、心身障害者像および関係者特性とコミュニケーション学の基本事項を「自分事」として学ぶ。

### 【学修目標】

言語的リハビリテーション活動の対象となる障害者や家族・地域社会等の特性とコミュニケーション課題を理解するために、心身障害の対象別イメージ、関係する社会構成員の役割特性に関する基本的知識を説明できる。

1. 心身障害の対象別障害像を説明できる。
2. 障害別コミュニケーション課題の基本問題を説明できる。
3. コミュニケーション学、コミュニケーション障害学の基礎事項を説明できる。
4. 学生自身の聴覚言語学的、コミュニケーション学的特徴を自己覚知できる。
5. 「コミュニケーションへの配慮」「傾聴的態度」「ことばの介助」を説明して実践できる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	1. シラバスと学修方法を説明できる。 2. 学生の個別学修課題を検討する。	長谷川 聡 (非常勤講師)
2	コミュニケーション実践論概説	1. コミュニケーションの原理と基本事項について検討する。 2. ケアリングとケアリング・コミュニケーションの基本事項と概要について検討する。	長谷川 聡 (非常勤講師)
3	対象別コミュニケーション1	高齢者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
4	対象別コミュニケーション2	認知症者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
5	対象別コミュニケーション3	聴覚障害者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
6	対象別コミュニケーション4	言語障害者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
7	対象別コミュニケーション5	発達障害者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
8	対象別コミュニケーション6	高次脳機能障害者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
9	対象別コミュニケーション7	精神障害者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
10	対象別コミュニケーション8	知的障害者の特性とそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
11	役割別コミュニケーション1	当事者家族への関わりとそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
12	役割別コミュニケーション1	地域・住民への関わりとそのコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
13	役割別コミュニケーション1	多職種連携とコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
14	役割別コミュニケーション1	職場のコミュニケーションへの配慮について検討し、説明・実践できる。	長谷川 聡 (非常勤講師)
15	総括と討議	障害別・役割別対象理解とコミュニケーション実践を	長谷川 聡 (非常勤講師)

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		総括し、その意味・目的・価値について振り返り検討する。	師)

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

1. 平常点（討議発言・役割参加）20%、リアクション・シート30%、期末課題50%。
2. リアクション・シートは提出確認後、個別にコメントを付して返却する。
3. 期末課題は提出確認後、個別に評価して全体講評を付して返却する。

**【教科書】**

介護初任者研修テキスト2 コミュニケーション技術と老化・認知症・障害の理解・小池将文/森繁樹監修・日本医療企画

**【参考書】**

保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門・石川ひろの・大修館書店

**【備考】**

1. manabaまたはGoogle Classroomを活用して資料配信、学習課題提示を行う。
2. Google Formを活用してリアクション・シートやレポートを管理し、提出物には教員コメントを付して返却する。
3. manabaまたはGoogle Classroomを活用して全体・個別の授業連絡や質疑応答・学修相談などを行う。
4. 面接授業を同時録画記録しオンデマンド配信する。なお原則としてその視聴をもって欠席を出席扱いにはしない。

**【学修の準備】**

1. 各回学修内容に該当する教科書部分を音読通読して、不明の漢字、欧文文字、用語などの読みと意味を調べて書き込みやノート作成などを行う。  
(各回80分)

1. リアクション・シートの教員コメントを読み、必要希望があればさらにコメントを返す。
2. 授業時の配布資料・紹介資料を読む。
3. 教科書の参照・参考文献等を収集して読む。  
(各回80分)

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

(DP1) 生命の尊厳と人権の尊重を基本とした幅広い教養、豊かな人間性、高い倫理観と優れたコミュニケーション能力を身につけている。

**【実務経験】**

行政職員(更生相談所福祉技術職)、社会福祉法人理事長

**【実務経験を活かした教育内容】**

相談機関・医療機関での実務経験を活かし、傷病者・障害者とその家族の相談やケアの方法、あるいは関連機関・関連職種・地域住民とのコミュニケーション・スキルについて講義し、ロールプレイなどによる実践的コミュニケーション訓練を体験する。